

【利島村】 1人1台端末の利活用に係る計画

（1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿）

特別支援を受けている児童生徒や学校に馴染めず不登校になってしまう児童・生徒など、様々なニーズを持つ子どもたちがいる中で、1人1人の個性に合わせた指導・支援が必要になっている。また、情報化が進む現代においては、デジタル環境に順応したうえで、子どもたちが社会に出たときに必要となる知識やスキルを身に付けていくことがとても重要になる。

従来のように教師が知識や解決策を提示するだけでなく、ICTを活用しながら、日時や場所を問わずに子どもたちが学びたいときに学び、自分から問題を解決していけるような環境を整えていく。本村にある資源を最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を目指していく。

（GIGA第1期の総括）

本村では、令和2年度に1人1台端末を導入し、それと並行して学校ICTに関してもソフトとハードの両方で整備を進めてきた。現在では学内外を問わず、授業や宿題などの様々な場面で子どもたちの活用が進んでいる。

また、ICT支援員も導入することで、教職員へのICT利活用に向けた支援を実施した。

しかし、端末のスペックや設定によって活用範囲に制限がかかってしまっていることや、ICT機器を運用してくうえでの業務量の増加など、課題も見えてきたため、GIGA第1期の経験を踏まえて端末更新につなげていく必要がある。

（1人1台端末の利活用方策）

GIGA第2期の端末の更新では、GIGA第1期の経験を踏まえながら、引き続き教職員のICT利活用に向けた支援を行っていくとともに、児童生徒が1人1台端末をより身近な学習ツールとして安心かつ効果的に利用できるように、児童・生徒とともに考える制限のあり方を実現しながら、授業改善、環境整備を推進していく。

デジタル教科書の積極的な活用、オンラインでの授業配信など、様々なニーズを持つ子どもたちに合わせた一人一人の学びの機会を保障し、児童生徒に合わせた学習を展開しやすいという利島ならではの強みを活かした、丁寧で実践的な1人1台端末をはじめとしたICT活用体制を構築していく。